

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組などについての情報をお届けします。

1：【高校の特色ある取組】

2：【学校紹介スペシャル】

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

「見つけよう、自分の目指す学び！」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010tobira/tobira.html>

■ もくじ ■

1：【高校の特色ある取組】

(1) 白石高等学校

＜学力向上プログラムが始動します＞

(2) 古川高等学校

＜古高祭＞

(3) 大河原商業高等学校

＜大商ブランド ビジネスにおけるスペシャリストの育成＞

(4) 一迫商業高等学校

＜栗原版デュアルシステムの取り組み＞

(5) 柴田農林高等学校

＜入試で一括募集を行っています。学校説明会・柴農祭のお知らせ＞

(6) 上沼高等学校

＜拓き、創る、あなたの未来！＞

(7) 本吉響高等学校

＜総合学科／基礎学力重視／情報・環境の2本柱＞

2：【学校紹介スペシャル】

(1) 古川黎明中学校・高等学校

＜黎明の未来の扉を開く時間（とき）＞

(2) 泉高等学校

＜無限の可能性・・・瞳かがやく泉高生・・・＞

(3) 石巻北高等学校

＜宮城県内で7番目の総合学科が石巻地域に誕生＞

(4) 伊具高等学校

＜集え、羽ばたけ、21世紀の地球市民をキャッチフレーズにした総合学科＞

(5) 田尻さくら高等学校

＜学校は 楽しいところ さくら咲く＞

3 : 【編集後記】

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 白石高等学校

| <学力向上プログラムが始動します>

宮城県白石高等学校は、白石高校（男子校）と白石女子高校が統合して、平成22年4月に開校しました。発足と同時に設置された校務分掌部である「企画研究部」は、白石高校を志望する中学生を増やすための戦略的広報活動と、入学してきた生徒の学力を飛躍的に向上させる取り組みを主な業務としています。

このうち学力向上のためのプログラムとして取組の準備を進めているのが、定期考査や模擬試験で、

- ①自己ベストの成績を出した生徒
- ②連続して成績を上昇させた生徒
- ③成績上昇者が最も多いクラス

を、それぞれ表彰するという企画です。全校一斉というわけではなく学年によって①～③のいずれかの企画を採用して進めますが、単純に成績上位者のみを表彰するのではなく、たとえ上位でなくても自己ベストの成績や連続上昇を決めた生徒に光を当てることによって、すべての生徒にやる気を起こさせることができるのではないかと考えています。今後の推移が楽しみです。

→<ホームページはこちら> <http://www.hakko.myswan.ne.jp/>

□ 古川高等学校

| <古高祭>

古高祭の特色ある部分を紹介します。初日に、社会の一線で活躍するOBによる記念講演を行っております。校訓の一つ「学問尊重」に基づき、大きな志を持って勉学に励み将来は社会で活躍する人になってほしいという願いから、文化祭記念講演と銘を打ち先輩たちの話を伺う機会を設けています。今年は、青森地方裁判所所長（昭47卒）田村幸一氏に、「裁判官あれこれ」という演題でお話をいただきました。前回は八戸大学学長（昭41卒）鈴木宏一氏「アジア共生時代を生きる」、前々回は「バンカラで世界を目指せ」東北大学医学部教授・総長特任補佐（昭47年卒）伊藤貞嘉氏でした。

前日には、文化祭参加各団体と1年生各クラスによる仮装大会を行いました。その後、仮装のまま市内街頭パレードとJR古川駅前広場でパフォーマンス大会を行い古高祭の広報を行う予定でしたが、今年は雨のため校内での仮装大会のみ実施しました。また、後夜祭では「ミス・ミスターコンテスト」を行いました。男子高時代の伝統から、華麗(?)なミスにチャレンジする多くのエントリーがありました。

ホームページに『古高祭』関連記事と写真・動画がありますので、ご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://furuko.sakura.ne.jp>

□ 大河原商業高等学校

| <大商ブランド ビジネスにおけるスペシャリストの育成>

本校では、教養とマナーを備え、地域社会に貢献し、リードし続ける質の高いビジネスマンを育成します。

- ビジネスマナーの育成 「みやぎ高校生マナーアップ運動」・「自転車利用マナーアップ運動」のモデル校に指定され、服装や交通安全のマナー向上に努めています。JR大河原駅での乗車マナー運動や町内清掃奉仕作業・校内環境美化の徹底・服装頭髪指導などを通し、けじめある生活態度を育成しています。
- 上級資格取得 TT（チーム・ティーチング）や習熟度別学習の形態で基礎学力の定着を図るとともに、補講なども行い3学科の特色を生かした資格取得に取り組んでいます。
- キャリア教育 社会人講師約50名でのスプリングセミナーや就業体験の推進を図り、職業観・勤労観の育成に努めています。生徒の適性を生かした進路指導を目標に昨年度は進路達成100%です。
- 部活動（これまでの成績） 男子ソフトテニス部個人インターハイ出場，陸上部男子800m県高校総体優勝，ワープロ部県大会団体・個人優勝，全国大会個人佳良賞，吹奏楽団県大会金賞受賞など各部とも活発に活動しています。
- 中学生向け出前授業 中学校の学習活動に則し，3学科の特色を生かした8講座を設け，中学校で授業をしています。これまで多くの学校から要望がありました。

→ <ホームページはこちら> <http://www.ogs.myswan.ne.jp/>

□ 一迫商業高等学校

| <栗原版デュアルシステムの取り組み>

本校では、キャリア教育の一環として「栗原版デュアルシステム」に取り組んでいます。これは、地域と学校の両輪“デュアル”で、生徒の指導をしていこうという取り組みです。内容の中心は、3学年で長期間に企業で実習をさせていただく「企業実習」（学校設定科目）、企画から販売までの商品開発をとおして起業家である協力企業の社長さんの考え方などを学ばせていただく「起業家研究」（課題研究）、商品を自分たちで仕入れてプロモーションから販売活動、会計までを行う「販売実習」（課題研究）を3本柱として行っているところです。この取り組みをとおして、生徒からは「仕事をするにあたっての“やりがい”という4文字のすばらしさを習得することができました。」などの前向きな職業観や勤労観に関する感想が多くありました。また、校外からも平成18年度みやぎものづくり大賞グランプリや平成20年度富県宮城グランプリ特別賞を受賞するなどこの取り組みを評価していただいております。

本年度は起業家研究班の取り組みを2班設定し、今まで年間1つだった開発商品を2つにしようと企画研究中です。また、10月10日（日）の栗原市一迫での「いちはさま新米まつり」や10月17日（日）の大崎市古川“醸室”での「大崎市誕生祭」への出店などが決定しています。お近くの方は是非足をお運び下さい。

→<ホームページはこちら> <http://www.ichisho.myswan.ne.jp/>

□ 柴田農林高等学校

| <入試で一括募集を行っています。学校説明会・柴農祭のお知らせ>

柴田農林高校－柴農（しばのう）－は、柴田郡大河原町にある農業高校です。設置学科は食農科学科，動物科学科，森林環境科，園芸工学科の4学科です。2年生からは4つの学科に分かれて学習しますが，入試では食農科学科と動物科学科，森林環境科と園芸工学科がそれぞれ「一括募集」を行っています。入学後によりよく学科のことを理解して，学科を選択できるというのが特徴です。

柴農では，多くの中学生やその保護者の方々に学校やこの「一括募集」を理解してもらいたいと考え，学校説明会を実施いたします。

○10月16日（土），11月27日（土）の2日間

○時間は午前9時から午後1時まで

個別相談のコーナーも設けますので，学科選択で悩んでいる受験生などは，是非ご出席下さい。また，10月30日（土）には毎年恒例の柴農祭一般公開が行われますので，あわせてご参加下さい。これらの詳細につきましては，日程が近くなりましたら，本校ホームページにて公開いたしますので，ご覧下さい。

→<ホームページはこちら> <http://www.sibano.myswan.ne.jp/>
(携帯電話からも同じアドレスでご覧いただけます)

□ 上沼高等学校

| <拓き，創る，あなたの未来！>

上沼高校の一日は，静寂の中での朝読書に始まり，放課後は基礎学力の定着を図るために全学年で課題学習に取り組んでいます。

「いつでも，どこでも，だれにでも，明るくそして厳しく指導」を合い言葉に，一人ひとりの個性を尊重しながら潜在能力，可能性を十分に引き出し，自己実現に向けてサポートします。

○普通科

1年生では基礎・基本を重点に，振り返りながら「わかる」を大切に学習しています。また，2年生からは自分の適性や興味・関心によって選択する類型別学習により，進路達成や自己実現を目指します。

☆「一般教養」（類型選択科目：国語総合・数学Ⅱ・数学B・OCⅠ・リーディング）
普通教科の学習を深め，豊かな感性や表現力・創造力などを養います。

☆「情報ビジネス」（類型選択科目：情報処理・簿記）
情報処理技術や商業簿記などを身に付け，情報化やビジネスの進展などに主体的に対応できる力を育てます。

☆「家庭・生活」（類型選択科目：フードデザイン・発達と保育・生物活用・グリーンライフ）
食生活や家庭生活，自然環境や園芸作物の栽培・活用などに関する知識と技術を身に付けます。

○農業技術科

1年生で農業科学基礎や農業情報処理などの専門科目を学習します。2年生からは野菜・草花・畜産の専攻別学習のほか農業機械などの専門科目を学び，地域産業の担い手の育成を目指します。

☆農業の学習内容

・無農薬でのコメづくり ・安全で高品質牛肉を生み出す子牛の生産 ・美味しく安全な野菜づくり ・美しく生活を彩る花の栽培 ・トラクターの運転操作 ・地域との交流学习 ・ボランティア活動 ・資格取得（ガス溶接技能，フォークリフト運転技能，小型クレーン，危険物取扱者，毒劇物取扱者など）

○平成22年10月16日（土）には「上高祭」がありますので、ぜひお越しください。

→<ホームページはこちら> <http://uwanuma-h.myswan.ne.jp/>

□ 本吉響高等学校

| <総合学科／基礎学力重視／情報・環境の2本柱>

○単位制総合学科として多様な選択科目を展開していることが大きな特徴です。

選択科目群（4系列）と自由選択科目群があり、2年次で週8時間、3年次で週14時間が選択の時間となります。少人数での授業も多くあります。

○基礎学力養成を目指した取り組みをしています。

・「学び直し」・・・1年次の国・数・英の授業の中で、4月からの一定期間、中学校の内容を復習し、高校の学習にスムーズに移行できるように配慮しています。

・「SSタイム」・・・基礎学力養成のための時間。国語・数学・英語について週1回の小テストで、年間各9回ずつのSSタイムを、前日の勉強会と併せて実施しています。

○情報教育と環境教育を2つの柱としています。

【情報】分野・・・『情報』『商業』『工業』の教科を中心に、「情報と表現」「情報処理」「プログラミング」等々の科目があります。また、『音楽』の「器楽演奏」では、コンピュータと音楽機器を組み合わせた授業も行っています。

【環境】分野・・・『農業』『理科』『家庭科』の教科を中心に、「栽培環境」「環境と衣食住」「自然観察」など、本校独自の科目（学校設定科目）も展開しています。「自然観察」では学校周辺の豊かな自然環境を活用したり、農業科ではアイガモ農法等、環境に配慮した稲作等、様々な取り組みを行っています。

他にも多くの特色があります。ぜひ、ホームページ等をご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://hibiki-h.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 古川黎明中学校・高等学校

| <黎明の未来の扉を開く時間（とき）>

上の表題は、今年度の古川黎明中学校・高等学校のキャッチフレーズです。本校生徒（中高生）から募集した作品の中から、校内で選定したものです。

併設型中高一貫教育校となって6年目。古川黎明は、この4月には併設中学校から進学した生徒が高校でも3学年そろい、名実ともに併設型中高一貫教育校となりました。

現在、中高合わせて930人余りがともに学び、学習に、部活動に、生徒会活動に、お互いを高め合いつつ学校生活を送っています。

本校では、中高一貫という特色を生かせるように、中高の6年間を見通した授業を、本校の中学生や併設中学校から進学してくる生徒だけでなく、高校から入学する生徒のみなさんも取り込んだ形で実施しています。また、そのための学習指導の充実と向上に努めています。

そして、11月12日（金）には、「主体的な学びを育む指導の工夫」を中高共通の研究主題として、これまでの取り組みを自主公開することとしています。

名実ともに併設型中高一貫教育校となっはじめての卒業生が巣立つ来年3月に、「黎明の未来の扉を開く」ことができるよう、教職員・生徒一丸となって日々活動しています。

→<ホームページはこちら> <http://www.freimei-j.myswan.ne.jp/>（中学校）
<http://www.freimei-h.myswan.ne.jp/>（高等学校）

□ 泉高等学校

| <無限の可能性・・・瞳かがやく泉高生・・・>

8月12日開催の学校説明会におきましては、イズミティで開催の午前の部学校説明に1,200名近く、泉高校で開催の午後の部学校見学に600名近くの中学3年生及び保護者の方にご来場いただきありがとうございました。その際配付した泉高校Q&Aに、当日頂いたご質問・ご要望等への回答を付け加えたQ&A改訂版と部活動紹介を、後日各中学校に配付し、HPにも一部掲載予定ですのでご覧ください。

説明会にご来場いただけなかった方のために、本校の特色をいくつか紹介します。

- 英語科(定員40名)と普通科(定員240名)があり、ほとんどの生徒が進学を希望しています。
- 合い言葉は「希望進路の実現」で、各種講習・模試・朝学習・週間課題の他、総合的な学習の時間の中で自己の生き方や進路について考察し、適切な進路選択を行うための学習を実施しています。
- 平成22年3月卒業生の大学入試センター試験出願率は91%で、現役国公立大学(防衛大含む)合格者は90名でした。
- 現在の45分7時間授業を、来年度から55分6時間授業に変更し、より充実した教育内容の実現を目指します。
- 充実した部活動や学校行事があります。生徒達は決められた時間のなかで、熱心に活動しています。泉高校三人行事の泉三校定期戦・泉高祭・校内球技大会は生徒会と実行委員会が企画運営をし大いに盛り上がります。今年の泉三校定期戦では泉高校が総合優勝を果たしました。
- ※泉三校定期戦一泉地区にある泉高校・泉松陵高校・泉館山高校の三校の運動部による対抗戦で、今年で25回目の開催となり、応援合戦も見物の一つとなっています。
- 交通至便で抜群の通学環境にあります。泉中央駅から徒歩20分、バスで学校前まで6分ほどです。
- 恵まれた教育環境の中で高校生活が送れます。平成20年3月に大規模改修工事が終了し、校舎が新しく生まれ変わりました。グラウンドは硬式野球・軟式野球・サッカー・陸上競技・軟式テニス(4コート)・ソフトボール・弓道が同時にできる広さで、充実した活動ができます。
- 英語科には英語科棟があり、なかでもCAI教室(コンピューターとLLの機能を併せ持った施設)は英語科専門科目の授業に広く活用されています。英語科宿泊研

修を終え、2年生になる頃には英語でのプレゼンテーション能力が十分身につきます。

その他、本校ホームページをご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://www.izumihigh.myswan.ne.jp/>

□ 石巻北高等学校

| <宮城県内で7番目の総合学科が石巻地域に誕生>

- ① 石巻北高は、資格がたくさんとれる学校です。
- ② 石巻北高は、総合学科の高校です。
- ③ 総合学科には、5つの系列があります。
- ④ 系列とは、自分の興味・関心・進路希望に応じた科目を選択するときの目安になるものです。
- ⑤ 2年次になると、5つの系列から一つ選んで2年間勉強します。
- ⑥ 食農系列は、農産物の栽培と食品の加工、食の安全、園芸について学習します。
- ⑦ 家庭系列は、介護福祉・看護・食物・被服・保育について学習します。
- ⑧ 経情系列は、経営・経理・販売の基本・PC・ビジネスマナーについて学習します。
- ⑨ 教養系列は、一般教養を広く身につけ、資格取得・インターンシップを重視した学習をします。
- ⑩ 進学系列は、大学や看護医療系学校進学と公務員受験に対応した学習をします。
- ⑪ 運動部は、陸上部・ソフト部・卓球部・野球部・剣道部・弓道部・バレー部・バスケ部・サッカー部・柔道部などがあって、どの部もがんばっています。
- ⑫ 文化部は、演劇部・写真部・自然科学部・コンピュータ部・美術部・園芸部などがあって、どの部もがんばっています。

→<ホームページはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

□ 伊具高等学校

| <「集え、羽ばたけ、21世紀の地球市民」をキャッチフレーズにした総合学科>

- 大正9年4月17日に宮城県伊具農蚕学校としてスターし、今年で90年目を迎えた学校です。数回の校名変更及び学科改編で、現在の伊具高等学校・総合学科に至っています。現在は4つの系列（農学・機械・情報・福祉）からなり1学年120名定員です。
- 農学系列 地域性を生かした農業生産や、その活用に関する知識と技術を身に付けます。
- 機械系列 コンピュータ制御による最新工作機械（NC・MC）の操作、溶接・旋盤技術等に関する知識を身に付けます。
- 情報系列 変化の激しい現代社会において、それに対応できるビジネスに関する知識や技術を身に付けます。
- 福祉系列 高齢社会に対応する、心身ともに健康で豊かな生活を支えるための知識と技術・態度を身に付けます。
- 進路指導 3年間を見通した計画的・継続的指導を行っています。1年次は「進路意識の確立」、2年次は「希望進路への準備」、3年次は「進路の実現」を目指しています。

→<ホームページはこちら> <http://www.igu.myswan.ne.jp/>

□ 田尻さくら高等学校

| <学校は 楽しいところ さくら咲く>

本校は、平成20年4月に二部制昼夕間開講型単位制高校として県北部に開校された現在最も新しい県立高校です。生徒が自由な雰囲気の中で、のびのびと高校生活を送り、自分を見つけて磨き、社会や上級学校に飛躍していくことを願って創立されました。

本校には、ホームルームがありません。制服も自由で、時間割も自分の興味・関心、進路に応じて自分でつくります。社会のルールが本校のルールです。こうした自由な雰囲気の中で、自分の夢に向かって、自分で考え、自分で行動する「大人の学校」なのです。

本校の特徴的な取組を紹介すると、

- ① 演劇や民話、スポーツ界の第一人者を招いて行う「田尻文化講演会・スポーツ講演会」
- ② 昇降口を入ったところにある2階吹き抜けの展示施設「さくらギャラリー」での作品展
- ③ 社会人の方々と共に学ぶ特色ある科目群（陶芸、書道、ハンゲル、英会話等）の開設

があります。

本校では、毎年「学校満足度調査」を行っていますが、今年の調査では、「学校が楽しい」と答えた生徒は、全校で70%を超えています。中には、中学校時代に不登校だった生徒が1日も休まずに登校している例もあります。

「学校は 楽しいところ さくら咲く」のごとく、生徒一人ひとりが明るく元気に生活できる学校を目指しています。

→<ホームページはこちら> <http://www.tajiri-hs.myswan.ne.jp/indexsakura.html>

■ 4 編集後記 ■

今年度に入って3号目の「高校教育課 情報メール」第18号をお届けします。今回は、県内の高等学校の特色ある取組や学校紹介スペシャルなど多くの県立高校の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

今後も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしていきますので、「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696